



平成 30 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 東映株式会社
代表者名 代表取締役社長 多田 憲之
(コード番号 9605 東証第 1 部)
問合せ先 執行役員経理部長 和田 耕一
(TEL . 03 - 3535 - 4641)

個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

平成 30 年 3 月期 (平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日) の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

1 . 平成 30 年 3 月期 (通期) 個別業績と前期実績値との差異 (平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前期 (平成 29 年 3 月期) 実績値 (A)	百万円 51,518	百万円 4,626	百万円 6,022	百万円 6,019	円 銭 466.87
当期 (平成 30 年 3 月期) 実績値 (B)	44,605	3,877	5,460	4,481	347.65
増 減 額 (B - A)	6,912	749	562	1,537	
増 減 率 (%)	13.4	16.2	9.3	25.5	

(注) 当社は平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、平成 29 年 3 月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算定しております。

2 . 公表の理由

当社におきましては、投資者ニーズを踏まえた上で、投資判断情報としての有用性が乏しいとの判断から、個別業績の概要は予想を含めて記載を省略しております。

このたび、前事業年度の実績値と比較して、当事業年度の決算数値が一定以上変動し、売上高の減少額が開示が要求される事実該当しますので、その内容を公表するものであります。

3 . 差異の理由

主に、当期は、前期配給の「ONE PIECE FILM GOLD」に匹敵する大ヒット劇場用映画がなかったこと等により、配給収入の計上額が前期に比して減少したことによるものであります。

以 上